

## “VSD100F3.8”から始まる2014年に目指すもの

田中 直樹



昨年末、とうとう待望の新鏡筒「VSD100F3.8」を手に入れました。今年折角、最終兵器ともいえる新鏡筒を手に入れた事ですから、今まで以上に天体写真に注力しようと考えています（もう後に引けないとも言うw）。今年星なかま写真展もありますしね。

ですが今までは、装備の一新を行なっておきながら、天体写真を絶賛サボってきたこともあり、技量的にも装備的にも完全に一からのスタート状態になっています。ですので、更なる天体写真の技量向上の為、更なる装備一新と知識習得に向け頑張っていきたいと思えます。

具体的に・・・

■機材のさらなる一新（※今まで足枷になっていた部分を補う）

### ・電源

冷却 CCD カメラやオートガイドの為に PC を使用するので、遠征の事を考えると、もっと大容量の電源が必要となります。現在のポータブル電源は今のところ問題はないのですが、長年使い続けているので、そろそろへたりが気になる頃。そして、PC を接続するにはちょっと容量的に心もとない印象。（※僕の機材は比較的消費電力が少ない方ではあるのですが。）

ですので、そろそろ冷却 CCD カメラを外に連れ出す意味でも、「**ディープサイクルバッテリー**」が欲しくなってきました。

### ・ガイド関係

今使っている撮影鏡筒の「ED65Q」の問題点の一つに「条件によって星像がいびつになる」と言う事をこれまでよく言ってきましたが、それが鏡筒の構造的問題なのか、単なるガイドミスなのかが結局今だによく分からないのが実情です。

また、今使っているオートガイダー（StarShootAutoGuider）も正直感度的に不満のある部分も出てきました。（特に自宅撮影の時など。）ガイド鏡もあまり剛性など考えていない割といいかげんな部分もあります。

最近はアメリカンアイピースサイズの軽量高感度なオートガイダーが多数登場している事ですし、それによってガイド鏡の小型軽量化も進んでいるので、ここでガイドシステムも少し見直して、軽量コンパクトで剛性の高い（感度も高い）システムを組みたいと考えています。

### ・カメラ

赤道儀、鏡筒と来て、やはり三本柱の最後に残るのはカメラでしょう。

最近では主力のデジイチにもやはり問題（50Dはバッテリーのヘタリと高感度ノイズ、Kiss X2は謎のカブリ）が見えてきていますし、いずれのカメラもまだ使い続けようとするには性能的に陳腐化し始める時期です。

最近ではフルサイズデジイチも安くなりましたし、高感度性能も段違いなので、夏ごろを目安に、そろそろデジイチを買い換えようかなと思います。

（やっぱり6Dあたりかなあ〜。）

また、冷却CCDカメラもフィルターホイールを電動のものに変えて、LRGBフィルターも入手したいと思います。勿論、ナローバンドも続けていきます。

■技量向上・モチベーションを保持する為に。

### ・同好の皆さんとの交流

今までポチポチ天体写真を続けてきましたが、やはり知識向上やモチベーションの保持に限界が出てくるもの。やはり、これらを高める為には同好の人間との交流しかありません。

星なかま☆ひめじもメンバーが増えつつある事ですから、皆さんとの天体写真撮影も積極的に行なっていきたいと思います。（と言う訳で、MLなども今までより活用出来ればと思います。）

また、それだけではなく、その他にもこれまで交流を持った方々、FacebookなどのSNS関係や他の同好会関係の方などとも天体写真を通じた交流を今まで以上に持てれば良いかなと考えています。

そして、そこから少しでも吸収できるものがあれば良いなと思います。

・・・今年何処まで出来るかなあ？

■おまけ（？）

### ・今年、星空案内人として。

おまけとは書いたけども、こっちもやっぱりメイン。

星のソムリエとして、今年も出来るだけ観望会などに協力していきたいところ。

はりま宇宙講座や星のソムリエ勉強会など、ソムリエの皆さんとの交流・勉強会などにも注力していきたいと思います。

おっと、去年は完全に頓挫状態だった姫路駅前での観望会も形を少し変えて考えている最中です。どうも駅前の空間は色々条件が厳しいのですが、こちらは何かしらの「テーマ」を考えてそのテーマにそって何かよいイベントが出来れば、駅前の空間を活用しつつも楽しいイベントを開催出来るのではないかと考えています。（姫路が脚光を浴びそうな年ですし。）

とは言え、まだまだ草案の域を出ないのですが・・・。